

スクールカウンセラーたより No. 6

—新型コロナウイルスの3つの顔—

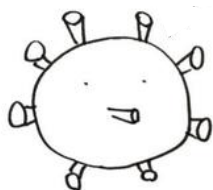
令和2年11月

新型コロナ感染症に関わり、先週半ばから休校となりました。みなさんには、急な休校・学級閉鎖・時間割変更と、いろいろな変化がおしよせてきていますね。予定通りに進まないことがたくさんありますが、学校からの連絡をよく見聞きして、なるべく落ち着いて一日一日を過ごしていきましょう。

◆ここで問題です！◆

新型コロナウイルスには3つの顔があります。

下の〇〇に入る言葉は何でしょう？



「私には3つの顔があるんだ」

1つ目の顔 [〇〇]

答え⇒病気

2つ目の顔 [〇〇]

答え⇒不安

3つ目の顔 [〇〇]

答え⇒差別や排除^{はいじょ}

ウイルスは体の“病気”として感染しますが(コロナウイルスの1つ目の顔)、「うつらないかな？」「怖いなあ…」という“不安”を生み、周囲の人に広がります(コロナウイルスの2つ目の顔)。そして、感染した人や身近な人を責めたり、仲間はずれにするような噂や行動が起きてくることがあります(コロナウイルスの3つ目の顔)。たとえば、「感染したのは誰？」「近づいたら危ないんじゃない？」といった言動です。知らず知らずのうちに特定の人の気持ちを傷つけてしまう可能性があります。

新型コロナウイルスは、まだ効果的な予防や治療法ができておらず、私たちは不安になるので感染者や感染の可能性の高い人を遠ざけようとするのです。3つ目の顔“差別や排除”には、このような理由があるのですが、人と人のつながりを弱めてしまい、学級や学校・地域の‘元気な力’をうばっていきます。

コロナウイルスの3つ目の顔＝差別や排除が広がらないように、考えて行動しましょう。LINEなどで一部の人たちが感染した人や状況を詮索したり、はっきりしない情報を広げることは、学校や地域の絆を弱めてしまいます。

不安な気持は、身近な信頼できる人に伝えてみましょう。



コロナウイルスへの感染は多くの人にとって不安ですが、今は、できる範囲の感染予防をやりながら、“いつもの”授業や部活などの学校活動に戻っていくことがみなさんの元気になる道筋です。コロナウイルスの“3つ目の顔(差別や排除)”の感染に気をつけよう！